

千葉県社会福祉審議会(R6.10.22)からの御意見と対応案

番号	意見概要	対応案
1	<p>「Ⅰ 全ての子ども・若者を支える」の「2 自分らしく生き抜く力の育成」について、こども大綱では遊びの機会の保障を掲げているが、県の計画では、遊びが抜けている。遊びは、「内発的動機に基づく、主体的活動」であり、重要なものであることから、遊びの機会の保障について記載してほしい。</p>	<p>御意見を踏まえ、Ⅰ-2-①のタイトルを「遊びや体験活動の充実と社会を生き抜く力の育成」とし、併せて、【現状と課題】及び【施策の方向と具体策】でも「遊び」の表現を加え、遊びの機会を充実していくことを明確にしました。（案P.41、48、49）</p>
2	<p>「Ⅰ 全ての子ども・若者を支える」の「1 子ども・若者が主体であることの社会全体での共有」について、千葉県としてしっかり子どもの権利救済を、行っていくことを記載してはどうか。早急に制度を整備してほしい。</p>	<p>子ども・若者を権利の侵害から守り救済する取組については、先行自治体の取組を注視しながら、方向性を検討していく旨を、「Ⅰ-1-①子ども・若者が権利の主体であることの社会全体での共有」の【施策の方向と具体策】に記載しました。（案P.45）</p>
3	<p>「Ⅰ 全ての子ども・若者を支える」の「7 子ども・若者の安全・安心の確保」について、犯罪被害に遭った子どもたちのことだけで、非行に及んでしまった子どもたちが取りこぼされているように見える。子ども・若者の安全・安心の確保は犯罪被害対策だけではない。非行に及んだ子どもたちの更正に関する内容は計画に盛り込まれているのか。</p>	<p>「Ⅱ-2-②健やかな成長を支える環境づくり」において、非行・犯罪防止及び立ち直り支援について記載しています。（案P.156）</p>
4	<p>こどもの意見聴取について、聴いたものをどう生かしていくのか。</p>	<p>子どもたちからの御意見については、若者も含まれている計画であることが分かるようにしてほしいとの意見を踏まえプラン名称に「若者」の語を加えたほか、将来の希望として、「周りに友人など頼れる人がいる」のアンケート結果を踏まえ、基本理念を「みんなで支え合い 全ての子ども・若者の可能性を広げる 千葉」とするなど、計画検討の参考とさせていただきます。</p> <p>検討に当たっては、テーマごとに整理し、関係課と共有の上、プランへの反映を検討したところです。意見聴取結果については、（仮称）千葉県こども計画策定会議で示すとともに、県ホームページ等を活用し、子どもたちへフィードバックすることとしています。</p>